



30年度 各事業の取り組み重点目標



▶ 営農企画課

- 品質・収量・食味のすべてを追求した技術指導の実践
- マーケットインに基づく実需と連携した生産振興
- 再生産できる農業、未来に続く農業基盤の確立

▶ 担い手支援課

- 担い手経営体支援
- 地域農業生産体制の再構築

▶ 米穀課

- 生産性向上と有利販売による生産者手取りの確保
- 検査体制、集荷・保管体制の見直し
- 生産法人との連携

▶ 園芸課

- 長ねぎ生産拡大事業の推進
- 園芸4品目を対象とした支援事業の実施

▶ 畜産課

- 生産性向上と防疫体制の強化
- 畜産生産基盤の維持と担い手確保対策の推進
- 地産地消による消費拡大の展開

▶ 総合対策室

- 2カ年目の園芸生産拡大支援事業の実施
- 園芸作業受託事業の拡大に伴う体制整備

▶ 営農資材課

- 訪問活動による資材情報の提供
- 低コスト・省力化資材の普及
- 店舗体制の改善

▶ 農業機械課

- 訪問活動による農機情報の提供
- 生産コスト低減に向けた営農支援
- 整備技術向上と農作業事故防止の活動

▶ 生活特産課

- 女性組織の活性化と安全安心な生活資材普及事業の展開
- 精米加工事業および精米販売の拡大
- 統合メリットを生かした新たな活動・販売の展開

▶ 信用事業

- お客様から喜んでいただける店舗づくりと相談機能の充実
- お客様からメインバンクとして選んでいただくための営業体制の充実
- 次世代層や高齢者に向けた金融商品の提案

▶ 共済事業

- 「ひと・いえ・くるまの総合保障」の拡充
- 地域に密着した推進活動の拡充
- 自動車共済および代理店強化

▶ 福祉事業

- 介護施設の運営強化とサービスの質の向上
- 健康づくり、生きがいづくりの創造



▲全7議案を原案通り承認しました

支援します。

米穀は、30年からオール山形で山形県農業再生協議会から示された生産の目安に沿った生産を行い需給バランスと米価安定に努めていきます。販売先からは業務用向けを中心とした米の不足感からこれまで以上の供給を求められ、増収技術確立と系統集荷率向上による安定集荷と安定供給に努めます。園芸は、長ねぎの周年栽培の確立を目指します。ミニトマト、アスパラガス、シャインマスカット、パプリカなどに取り組み農業生産法人・個人の生産者に対して、新設する園芸用ハウスなどの支援を引き続き行い、高収益農業の実践とみどりブランドの確立を目指します。畜産は、生産性向上や財務改善を図ります。規模拡大を目指す担い手農家に補助事業の推進支援をします。

【購買事業】各課と情報共有に努め、低コスト・省力化資材の普及によるトータルの生産コストの低減を図

の集積、集約化を進め、法人を中心とした担い手の所得増大に向けた取り組みを

【経営管理】支店を中心とした地域活性化の取り組みを継続するとともに、「JA庄内みどりの未来を考える会」の答申に基づき、自己改革を進めます。

【福祉事業】JAの介護保険事業の連携によるサービスの質と利用者満足度を高める事業運営に努めます。

【信用事業】次世代層からメインバンクとして利用してもらうために、生涯取引につながる取り組みを展開します。

【共済事業】「ひと・いえ・くるまの総合保障」の実現に向け3Q訪問活動を実施し、「安心」と「満足」の提供を図ります。

ります。農業機械は、生産コスト低減に向けた情報を提供します。生活特産課は、食農教育や女性部など地域に根差した活動を図り、精米や特産品販売、産直部門などの拡充を目指します。



▲総代505人が参加しました